

たつの市ホームページより

## たつの市内で「ヒラズゲンセイ」が発見されました。

ヒラズゲンセイは一見するとクワガタムシのような印象を受けますが、実際はツチハン

ミョウ科の昆虫です。

体や脚の関節から黄色い有毒な物質を分泌し、皮膚につくと炎症をおこすおそれがある

ため、発見しても触れないようにしてください。



7月13日（木）神戸新聞より

**皮膚に触れると水ぶくれに**

### 真つ赤な昆虫に注意

#### 御津でヒラズゲンセイ確認

**たつの** 真つ赤なクワガタのような、珍しいが危険な昆虫「ヒラズゲンセイ」が、たつの市御津町対屋の住宅地で見つかった。「カンタリジン」という猛毒を含む体液を分泌し、人の皮膚に触れると水ぶくれを起こすため、市環境課が注意するよう呼びかけている。

発見したのは、同町黒崎の自然観察指導員、茂見節

子さん(75)。知人から「珍しい虫がいる」と連絡を受け、10日に宅地に近い道路で見つけて採集した。体長2・5センチほどで、採集後は餌を食べないため翌日には死んだという。

ツチハンミョウ科の甲虫で、高知県など温暖な地方に生息するが、近年は兵庫県内でも発見例があり、今月には朝来市でも見つかった。同科の虫が持つカンタリジンは服用すると致死性が高く、時代劇では毒薬として登場するほど危険だという。

茂見さんは、佐用町昆虫館(同町船越)のスタッフも務めるが「ヒラズゲンセイは実際には初めて見た」と話す。連絡を受けた市環境課は「触らないように」とホームページで告知している。

(直江 純)

A smaller version of the red beetle and the 100-yen coin, similar to the images above, used for scale in the newspaper article.